

# 【家庭科・小5・「ミシンでソーイング」①】

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 製作に必要な材料や手順、製作計画やミシン縫いによる目的に応じた縫い方、用具の安全な取り扱いについて理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (思考力、判断力、表現力) 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (学びに向かう力、人間性等) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

## ICT活用のポイント

家庭実践の振り返りについて、作品の様子や活用場面を視覚的に理解しやすくしたり、考えを共有したりする場面でのICT活用

### 【つかむ】

本時の位置付けを確認し、めあてを設定する。

生活を豊かにするためにさらにできることは何か？

### 活用場面① 【追究する1】

ペアで相互評価をする。

### 活用場面② 【追究する2】

グループで検討する。

### 【まとめる】

評価・改善

## 事例の概要

### 【概要】

1. 題材計画における、本時の位置付けを確認し、めあてを設定する。
2. ペアで実践を紹介し合い、それぞれの実践を相互評価する。【活用事例①】
3. 改善の視点に沿ってグループで話し合い、意見を出し合う。【活用事例②】
4. 題材を振り返り、自分の考えをまとめる。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

○ペアで家庭での実践を紹介する場面でICT機器を活用し、事前に記入した振り返りカードや実物を基に、友達の実践のよさを見つけて伝えたり、質問したりして、相互評価できるようにする。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

○ミシンを使った製作物について、改善の視点に沿って検討することで、生活を豊かにするための考え方が広げられるようにする。

# 【家庭科・小5・「ミシンでソーイング」②】

## 【事例におけるICT活用の場面①】



### 活用場面①

- ICT端末の学習支援ソフトに蓄積したカードを見せ合いながら、自分が製作した物の工夫や使い方についてペアで話し合う。
- 友達の作品のよさを、学習支援ソフトを使って互いにカードで送り合う。

#### <効果>

カードを事前に記入することで、自分が伝えたいことが整理される。また、伝えたい内容ごとにカードを残すことができる。さらに、写真や動画を活用できるので、視覚的にも捉えやすい。

#### <留意点>

事前のカードに書かれた内容を教師が確認しておく必要がある。また、必要な項目を示しておくことも必要となる。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



### 活用場面②

- 司会者や記録者などの役割を決め、学習支援ソフトで画面を共有し、内容を把握しながら話し合いを進める。
- 全グループの話し合いの様子を学習支援ソフトを使って児童が共有し、活用する。

#### <効果>

学習ソフトで全グループの画面を共有することで、児童が自分のグループでは出なかった新しい視点を得ることができる。また、友達の考えと自分の考えを比較検討することができる。

#### <留意点>

画面を共有する際は、「生活の営みに係る見方・考え方」について、児童が意識できるように教師が助言する。